

令和7年8月29日

保護者様

京都市立松ヶ崎小学校  
校長 服部 恵介

## 令和7年度全国学力・学習状況調査の分析結果について

4月17日に、6年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」について、本校6年生についての分析結果がまとまりました。本調査は、国語科と算数科、理科の3教科のテストと同時に、家庭での過ごし方や学習時間等を問う質問紙調査も実施されています。学力テストと児童質問紙の分析結果をお伝えします。

### 総合結果（国語科・算数科・理科）

教科に関する調査、3教科共に京都市平均は全国平均を上回っており、本校の平均はさらにそれを上回る結果となりました。どの教科においても全国平均を大きく上回っており、言語力や数学的思考が全体的に高いことが示されています。

### 国語科より

本校の正答率は、全国平均、京都市平均を大きく上回りました。本校6年生の国語力が全体的に高いことが結果からうかがえます。

特に「話すこと・聞くこと」の話の意図を問う問題、「読むこと」の文章の要旨をとらえる問題、文章と図表を結びつける問題では全国平均を大きく上回っています。

「情報の扱い方に関する事項」の記録の書き表し方を答える問題、「書くこと」の自分の考えを伝わりやすいように書き表す問題では、他の問題に比べると誤答が多く見られました。普段からわかりやすいメモをとったり、表現を推敲しながら文章を書いたりする活動を取り入れていくようにする必要があるかと思います。

### 算数科より

本校の正答率は、全国平均、京都市平均を大きく上回りました。算数科においても本校6年生の学力が全体的に高いことがわかります。

正答率が高かったものは、問題文の記述を正確に理解し、総合的に考えて解答を求める問題でした。伴って変わる二つの数量の関係に着目し、問題を解決するために必要な数量を見出し、知りたい数量の大きさの求め方を記述して答える難易度の高い内容でしたが、多くの児童が正解していました。

苦手な傾向が見られたのは「数と計算」の内容で、数直線上に示された数を分数で書く問題、異分母分数の足し算、「測定」の内容のはかりの目盛りを読む問題でした。

基本的な問題を疎かにせず、繰り返し学習することで、さらに算数科の力を高めていきたいと思えます。

### 理科より

理科においてもの正答率は、全国平均、京都市平均を大きく上回りました。

正答率が高かったものは、「生命」領域の顕微鏡の扱い方に関する問題、「地球」領域の水の流れに関する問題「粒子」領域の水の体積に関する問題でした。

苦手な傾向が見られたのは「生命」領域で、5年生で学んだ条件制御を使う問題、「粒子」「地球」領域の水の3状態の知識をもとに温度による水の状態について答える問題でした。

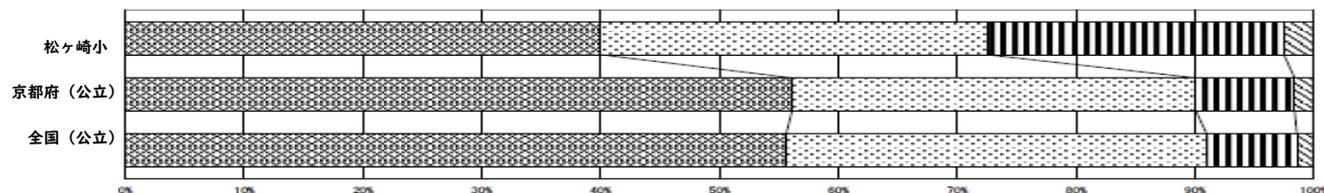
理科の学習においては、知識を身に付ける内容だけにならないように、比較、関連、総合等の思考を生かした内容になるような工夫をしていきたいと思えます。

## 児童質問紙調査から

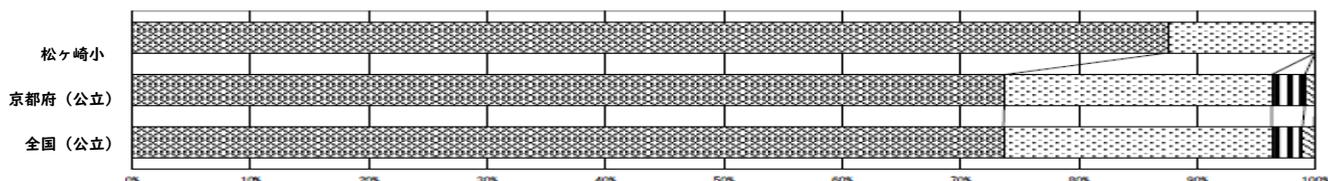
以下には本校の特色が見られた項目についてお知らせします。

☐1. 当てはまる    ☐2. どちらかといえば、当てはまる    ☐3. どちらかといえば、当てはまらない    ☐4. 当てはまらない

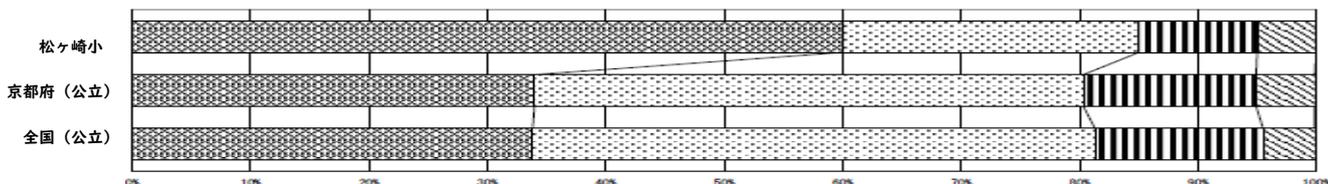
(3) 毎日、同じくらいの時間に起きていますか。



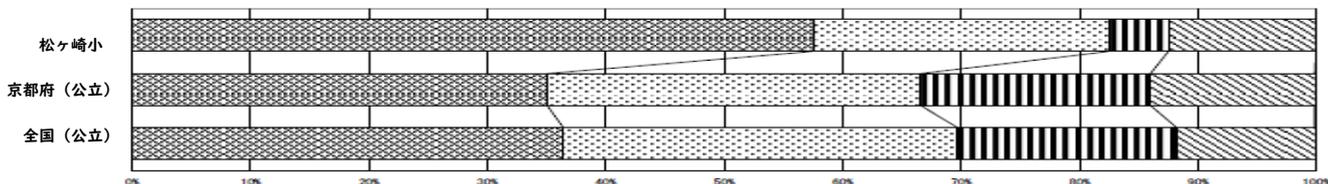
(11) 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。



(27) 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。



(24) 読書は好きですか。



結果から、生活リズムが不規則になっている傾向が見られます(3)。

誰かのために役立ち、何かをしてみたいという公共の精神や奉仕の意識が身についている様子が見え(11)(27)。

読書への親しみについては、京都府、全国平均と比較して高い数値が出ています(24)。

特に非常に読書が好きであると答える児童の割合が大きくなっています。子ども達の学力の基礎を支える読書習慣をこれからも維持して行ってほしいと思います。

今後も本校の全ての子ども達の学力と心を育て、笑顔があふれる学校を目指し日々の教育活動を粘り強く続けていこうと思います。

## 保護者の皆様へ

全国調査は、子どもたちの学習状況を知り、課題を共有し子どもたちの可能性を更に伸ばしていくためのものです。結果が学力の全てを表しているのではなく、順位を競うものでもありません。

学力は学校・家庭・地域の取組の地道な積み重ねにより定着していくものであり、望ましい生活習慣や日々の学習習慣がその基盤となります。

今回の本校の結果を見ると、全体的に大変よく出来ていると思います。学校での学習だけではなく、ご家庭での子どもに対する積極的な関わりや指導・支援の成果が表れています。

引き続き、子どもたちの健やかな育ちと学びの環境づくりにご協力をお願いいたします。